

議会かわら版

「市民と議会の意見交換会」を開催しました

留萌市議会主催の「市民と議会の意見交換会」が、11月20日「るしんふれ愛パーク」を会場に、30人の市民の皆さまに参加をいただき開催されました。

意見交換会は「市民にわかりやすく・開かれた議会」、「市民参加の機会の拡充」、「市民への説明責任を果たす」を実現することを目的に毎年開催しています。

本年度は、第1、第2常任委員会及び決算審査特別委員会からの報告の後、①「道の駅」、②「子育て支援」の2つのテーマを、参加者が6つの班に分かれ、意見交換を行いました。



▲多くの市民の皆さまにご意見をいただいた「市民と議会の意見交換会」

たくさんのご意見の中から、抜粋でご紹介します

テーマ1 「道の駅」 テーマ2 「子育て支援」

留萌の食は、自信を持ってお客様に自慢できる。観光地と留萌の食を繋げる役割に期待する。

農家からの直販をするのであれば、高齢化で農産物を道の駅まで運ぶのが大変。

ホームページでの掲示板やご意見箱など、市民の意見を聞く多様なツールの検討をしてほしい。

留萌らしいものがあるのか。海産物は、市販より安いなど市場のようなものがあるとよい。

夏も冬も活用できる利活用計画を考えてほしい。

明確なビジョンが見えない。道の駅の完成した姿が見えない。

なぜ保育士が不足しているのか、原因をしっかりと受け止めて対策してほしい。大事な子どもを預かる保育の現場は、想像以上に厳しい環境である。

留萌高校進路では、保育関係に積極的に紹介している。今年は、保育士希望が10人いると聞いている。

建設を予定している屋内遊戯施設に子育て支援センターのような機能を併設できないか。子育てを相談できる場を設けてはどうか。

保育士のやりがいプラス労働条件改善が必要ではないか。

留萌市では赤ちゃんが誕生した時にお祝い品などのプレゼントはあるのか。

中学校の文化系のクラブの先生がいないため、部活の継続ができない。



多くの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

76.9 MHz
FM もえる
エフエムもえる

留萌市議会
YouTube

留萌市議会では、一般質問の様子をラジオやインターネットを活用し、放送・配信しています。

議会の動向 12月

- 17日(火) 議会広報広聴常任委員会
- 18日(水) 第1常任委員会
- 24日(火) 第2常任委員会



「小規模保育 すまい留」が開所しました

留萌市の待機児童の解消と女性の社会進出を応援する「小規模保育 すまい留」が、12月2日留萌十字街西ビル1階（ぷるも内）に開所しました。

開所式では、保護者とともに参加した16人の可愛い子どもたちの笑顔があふれていました。

「すまい留」は、0歳から2歳までの児童が対象で、定員は19人です。留萌市在住の保育士や地域の皆さまのお力添えをいただきながら、子ども達の健やかな成長と、子育てをしやすいまち「るもい」として、活躍を期待します。



連絡先 特定非営利活動法人 NPOおたすけママくらぶ 電話42-8000